

第2回東郷町まちづくり会議の報告

1. 東郷町まちづくり会議の概要

①開催概要

日時：2019年12月3日（火）19：00～21：00

会場：東郷町役場会議室

参加者：町民29名、東郷町職員9名、コンサルタント3名

【参加者名簿（当日欠席者を含む）】

	Aグループ（東部地域）	Bグループ（中部地域）	Cグループ（西部地域）
区・自治会 推薦委員	水野 里士	小島 一夫	石川 泰洋
	加藤 修	加藤 正教	竹内 一司
	中山 一夫	斉藤 秀平	佐藤 忠勝
	近澤 道夫	佐伯 信孝	水野 敏秋
	祖父江 寿恭	半田 清春	近藤 明生
	横井 一男	平手 利英	近藤 勝弘
公募委員		逢坂 馨	佐藤 陽二
	中根 知彦	水野 絵梨香	山田 真里亜
	伊波 恵里子	磯村 小百合	鳥居 紗歩
	織田 英嗣	清水 友博	松島 陽平
	柘植 雄治	小林 浩治	
	柘植 俊秀		

※上記のほか各グループにファシリテーター（コンサルタント）、補助員（町職員）が参加

②当日のスケジュール

1. 開会
2. あいさつ
3. 第1回まちづくり会議の振り返り
4. 地域の方向性やアイデアについての話し合い
テーマ1【地域のめざす方向性を提案しよう】
テーマ2【まちづくりのアイデアについて提案しよう】
5. 地域ごとの発表
6. 閉会



③話し合いの様子



2. グループごとの検討結果

■東部地域

テーマ1【地域のめざす方向性】	
分野	①地域のめざす方向性
生活環境 ・ 日常の買い物 ・ 住宅地の環境 ・ 防犯・防災 など	<ul style="list-style-type: none"> 我が家で出来る防犯対策をする 人の出入りのはげしい町よりは住宅地としての地区としての方向性へもっていく→住みやすい街 高齢化が進むなか、日常の買物が自家用車なしで行える状況にする のんびり暮らすことが出来る開発と自然の両立
地域資源 ・ 自然や身近な緑 ・ 歴史、文化 ・ 地域の行事 など	<ul style="list-style-type: none"> 愛知池を基幹とする地域作り アスファルトや建物ばかりにならず土の見える町。車がなくなっても排気ガスに負けない緑の多い町 市に囲まれた自然豊かなボツンと田舎町 地域資源を活かす。歴史、文化、人 豊かな農地、農作物のPRブランド
交通・移動 ・ 公共交通 ・ 道路、自動車 ・ 歩行環境 など	<ul style="list-style-type: none"> 北の玄関口としての街づくり 諸輪地区の道路を広くする。又は細い道路に車が集中しなくてもすむような整備 高齢者でも買い物に行ける、交通の便 高齢化早くなっていく→高齢者は動けなくなる人が多い→どんな行政からの援助がとれるのか？ 自動車用の道を整備することにより通過車両が多くなり、子供、老人、一般人の事故にあうキケン 細い道、抜け道を通る車のスピード防止対策 免許返上した人、車のない人の買物、病院へ交通手段を見つけた
地域コミュニティ・地域活動 ・ 地域の担い手 ・ 移住者、世代間交流 ・ コミュニティ など	<ul style="list-style-type: none"> 生産人口の増加（コミュニティ的） 高齢者の方の家の生活維持援助 介護予防 認知症の見守り 子供つながりは同世代つながりでの移住者の地域コミュニティへの導入 高齢者が一人暮らしになったとき、名古屋へ移転しないほしい 地元で働く場所を確保し、若い人が全て大都会に出ていけないようにしてほしい 町民が楽しめる娯楽施設（町民優先）
その他	

テーマ2【まちづくりのアイデア】	
分野	②まちづくりのアイデア
生活環境 ・ 日常の買い物 ・ 住宅地の環境 ・ 防犯・防災 など	<ul style="list-style-type: none"> 家の周りの草取り、ゴミ拾い、花壇作りをし、家から出入り多くし、外に歩いている人とコミュニケーション。変質者には警告になる 車なしで住める町に対して相反する巡回バスの最悪編成が行われつつある計画 農地、空地の活用 畑作りしたい人と提供できる人との情報交換の場 愛知池周辺の活用（健康、温泉）愛知用水に要確認
地域資源 ・ 自然や身近な緑 ・ 歴史、文化 ・ 地域の行事 など	<ul style="list-style-type: none"> 未利用地の整備（山林等）耕作放棄地 緑地の保全と活用（愛知池周辺） DIYの工房、作業できる施設 白鳥緑日、販売、コミュニティの場
交通・移動 ・ 公共交通 ・ 道路、自動車 ・ 歩行環境 など	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備 ららぽーとへのシャトルバス、毎日難しいと思うので、週に2.3程度 道路整備 まず車あきりが根本にある考え方から進んできている 道路整備 事故にならない程度の障害物 買い物専用のワンボックスカー？
地域コミュニティ・地域活動 ・ 地域の担い手 ・ 移住者、世代間交流 ・ コミュニティ など	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口を増やす為のイベント 地域の人々に役割を与える（生きがいにつながる） 子供主体の地域コミュニティの活性化→親も一緒に参加 都会にはない人間関係の密な社会にする。生活の足を充実させる 将棋、囲碁、マージャン、オセロなど楽しめる場（男性の方に） 可能ならボーリング場、温泉施設・地域通貨 空き家をつどい場として立ち上げる（NPO法人） 屋敷の提供、介護保険で対応できない援助etc【モデル：兵庫県西宮市つどい場さくらちゃん】 生活支援カフェ（空き家）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 自動車商業だけでなく、ITや医療機器分野の商業も誘致してほしい 企業誘致

<東部地域の総括>

テーマ1【地域のめざす方向性を提案しよう】

- 生活環境： 住宅地として住みやすいまち、開発と自然の両立、のんびりとした暮らしなど
- 地域資源： 愛知池を基幹とする地域、自然豊かなみどりの多いまち、歴史・文化・人をいかすなど
- 交通・移動： 北の玄関口としてのまちづくり、集落地への通過交通防止・安全対策、高齢者が移動しやすいまちなど
- 地域コミュニティ・地域活動： 若者等の働く場所の確保による転出の抑制、移住者の地域コミュニティへの導入、一人暮らし高齢者などの暮らしの支援など

テーマ2【まちづくりのアイデアについて提案しよう】

- 生活環境： 愛知池周辺の活用、自宅周りの緑化、農地・空き地の活用、巡回バスの再編成など
- 地域資源： 未利用地（山林、耕作放棄地）の整備、愛知池周辺緑地の保全と活用、縁日などのコミュニティの場づくりなど
- 交通・移動： 都市計画道路等の整備、ららぽーとへのシャトルバスの運行、車前提の考え方からの転換など
- 地域コミュニティ・地域活動： 子供主体のコミュニティの活性化、関係人口の増加、空き家の活用（つどいの場、生活支援カフェ等）など
- その他： 企業誘致、IT等の新分野の誘致など

■中部地域

テーマ1【地域のめざす方向性】	
分野	①地域のめざす方向性
生活環境 ・ 日常の買い物 ・ 住宅地の環境 ・ 防犯・防災 など	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心に暮らせる町 子どもが安全に遊べる公園 道路管理 平日は名古屋、豊田のベッドタウンとするものの休日（オフ）には住民が楽ある活気ある地区 若い世代の人たちが増える 人生100年時代を想定し、老いたら町を出て行く事がなくなる様な町 町内ですごしやすいようにぶらり歩こう東郷町
地域資源 ・ 自然や身近な緑 ・ 歴史、文化 ・ 地域の行事 など	
交通・移動 ・ 公共交通 ・ 道路、自動車 ・ 歩行環境 など	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の充実
地域コミュニティ・地域活動 ・ 地域の担い手 ・ 移住者、世代間交流 ・ コミュニティ など	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの見守り、防災など、地域で助け合える自治会づくり 住民の高齢化と新しい子ども増加。どのように交流が可能か？祭りなどの企画 新しい住民と前からの住民との交流場を多く持ちコミュニケーションが盛んになると良い 中部地域がまとまるイベント、お祭りを立ち上げる、地元意識の構築のために 町にコミュニティセンター活動の活性化！住民が参加しやすい活動の支援 中部地区内にある各自治会（町内）の温度差を縮める 移住者との交流
その他	

テーマ2【まちづくりのアイデア】	
分野	②まちづくりのアイデア
生活環境 ・ 日常の買い物 ・ 住宅地の環境 ・ 防犯・防災 など	<ul style="list-style-type: none"> 散歩を促進し、健康づくりを促進する環境
地域資源 ・ 自然や身近な緑 ・ 歴史、文化 ・ 地域の行事 など	<ul style="list-style-type: none"> 歴史、文化施設に散歩しやすくし活性化を図る スポーツやものづくり等、クラブ活動を増やす 若い人が行きたがる施設をつくる ららぽーと内に町の施設の一部を入れて交流を図る
交通・移動 ・ 公共交通 ・ 道路、自動車 ・ 歩行環境 など	<ul style="list-style-type: none"> 散歩と組合せた効果的なバス路線の整備 ウォークロード内のトイレの設置（境川、愛知池） 住民が出会う機会づくり！ 並木道 or 花畑
地域コミュニティ・地域活動 ・ 地域の担い手 ・ 移住者、世代間交流 ・ コミュニティ など	<ul style="list-style-type: none"> 散歩、外出を促す施策や工夫を多く試す おしゃれな散歩道づくり 定期的な歩こう会の実施、町が企画する 散歩道。低コストで看板や地図も。たくさんルート開発。 （農協での）農地の開放、作物作り、農作物 文化を通じた交流づくり（太鼓など） 中心商店街の崩壊、買物以外でも交流できる文化企画 交流の場をつくる 自治会へ入会する ららぽーとをからめた交流、イベントづくり ららぽーとの詳細が見えない。早く情報を流す 他に負けない公園
その他	

<中部地域の総括>

テーマ1【地域のめざす方向性を提案しよう】

- 生活環境： 安全・安心に暮らせるまち、子供が安全に遊べる公園、若い世代が増える、高齢者も暮らし続けられる、町内ですごしやすい、ぶらりできるまちなど
- 交通・移動： 公共交通機関の充実など
- 地域コミュニティ・地域活動： 地域で助け合える自治会づくり、高齢者・子供などの交流の企画、新しい住民と前からの住民との交流・コミュニケーションが盛んになる、中部地域がまとまるイベント、各自治会の温度差の解消など

テーマ2【まちづくりのアイデアについて提案しよう】

- 生活環境： 散歩の促進、健康づくりの促進など
- 地域資源： 歴史・文化施設等で散歩しやすく、クラブ活動（スポーツやものづくり等）を増やす、若者向け施設を整備、ららぽーとに町の施設を整備し交流を図るなど
- 交通・移動： 散歩と組み合わせたバス路線整備、住民が出会う機会づくり、並木道・花畑の整備など
- 地域コミュニティ・地域活動： 散歩・外出を促進する施策を試す（おしゃれな散歩道、歩こう会、散歩ルート開発）、農地の開放、中心商店街で交流の場づくり、ららぽーとを絡めた交流・イベントなど

■西部地域

テーマ1【地域をめざす方向性】			テーマ2【まちづくりのアイデア】		
分野	①地域をめざす方向性		分野	②まちづくりのアイデア	
生活環境 ・日常の買い物 ・住宅地の環境 ・防犯・防災 など	・防犯灯が少ない 現行 1灯/2本(電球) → 1灯/1本 ・文化的・衛生的な環境が整備されている	・車がなくても、日常生活に困らない環境 ・店の数が少ない ・新旧の住宅が有り、防犯・防災等に問題が生じている	生活環境 ・日常の買い物 ・住宅地の環境 ・防犯・防災 など	・下水、側溝の整備	
地域資源 ・自然や身近な緑 ・歴史、文化 ・地域の行事 など	・高齢者と若者が利用できる公園 ・自治会と神社のつながり、行動内容の明確化	・公園設備等の定期的な安全点検(町民がいつでも気持ちよく安全に利用できるような整備) ・出来るだけ現状を保つ	地域資源 ・自然や身近な緑 ・歴史、文化 ・地域の行事 など	・草刈り ・ベンチ設置 ・環境整備	
交通・移動 ・公共交通 ・道路、自動車 ・歩行環境 など	・道路の危険箇所がある ・公共交通の充実、買い物、通院 ・公共交通機関を充実させたい ・県道での交通渋滞をなくすためには、県・日進市との連携が必要である ・路上駐車場の減少	・大型商業施設(ららぽーと、プライムツリー等)へのアクセス ・町バス・名鉄バス路線再編 ・道路の拡幅(歩道を含む) ・利用しやすいバス停の確保 ・歩行者(通勤・通学)が安心して歩行出来る道路が確保されている	交通・移動 ・公共交通 ・道路、自動車 ・歩行環境 など	・交通危険マップ作成 ・巡回バス・巡回バスJrで狭い道も走らせる ・通り抜けが多く、工事の為に特が多くなった。 ・高齢者タクシー活用(75才以上)対象者を広げる(1回1枚500円)	・ノーカーデイを企業にやってもらって相乗り ・バス停に屋根やベンチの整備 ・交通問題は周辺の自治体と連携して長期の視点でやる! ・シニアカーのルールを統一(ルールがわからない!)
地域コミュニティ・地域活動 ・地域の担い手 ・移住者、世代間交流 ・コミュニティ など	・町内行事増やして役員の負担減としたい ・先住者と移住者の協力・つながりを強く出来る機会の設定を多く	・西白土区においては、女性部・老人クラブに行事・事業をお願いすることが多いが高齢化のため難しくなっているのが青年部を作る予定である ・公園(児童遊園)などの管理が地域にまかされている。町も見直す必要がある(規則\$50年)計画的な環境作り	地域コミュニティ・地域活動 ・地域の担い手 ・移住者、世代間交流 ・コミュニティ など	・世代間交流の充実、イベントの工夫 ・コミュニティの場の充実(公園)	・もちろみなど品物でつるのは行きやすい ・マルシェなど(なるべく人手のかからないイベント) ・行事を縮小(日・時間など) ・役員手当を増やす
その他	・空き地の有効利用する為の案の提案(地主が県外が多い)	・年々、ごみ集積所の確保が難しくなってきた(戸別収集していききたい)	その他	・学校教育として空き地を借りて農業をやる ・草刈りが問題、燃やせない	・めいわく条例で地主にハードルを設ける ・地域の駐車場として活用する

＜西部地域の総括＞

テーマ1【地域をめざす方向性を提案しよう】

- 生活環境： 車がなくても日常生活に困らない、文化的・衛生的な環境整備、防犯・防災上の問題対応など
- 地域資源： 高齢者や若者が利用できる公園整備、安全に利用できる公園、自治会と神社の適正な関係など
- 交通・移動： 公共交通機関の充実、バスの路線再編、道路の整備(拡幅、県道の渋滞解消、歩行者の安全確保)など
- 地域コミュニティ・地域活動： 前からの住民と新規の住民との協力・つながり強化、自治会の高齢化への対応、公園の適正管理(地域と行政との役割)など
- その他： 空き地の有効利用など

テーマ2【まちづくりのアイデアについて提案しよう】

- 生活環境： 下水・側溝の整備など
- 地域資源： 草刈り、ベンチ設置、環境整備など
- 交通・移動： 交通危険マップの作成、きめ細かい巡回バス等のルート設定、ノーカーデイの実施、周辺自治体との交通連携、高齢者タクシーの活用など
- 地域コミュニティ・地域活動： 世代間交流・イベントの工夫、コミュニティの場の充実、人手のかからないイベント(マルシェ等)の実施など
- その他： 空き地の活用(教育の一環で農業実施、草刈り問題、地域の駐車場として活用)など

【地域ごとの発表の様子・ワークシート概要】

